

補習生（J2・J3・単科継続生）各位

近畿実務補習所  
運営委員会

## 単位の充足方法について

各単位（講義出席単位、ディスカッション・ゼミナールへの出席単位、考査単位、課題研究単位）が不足している補習生は、下記要領により、不足単位を充足して下さい。

なお、本科継続生については、別途案内する。

記

### 【修了した下位学年の講義出席単位の充足方法について】

講義出席単位における修了要件を充足するためには、下記の方法があります。

#### 1. 下位学年のライブ講義を受講する（受講した講義はその科目が対象の学年の単位になります）

下位学年のライブ講義を受講し、修了した下位学年での不足単位を充足することができます。近畿実務補習所では、事前に「申込」と「受講料振込」をすることにより下位学年のライブ講義を受講することができます。6ページの「講義受講申込書」にて申し込んでください。（申込書の赤字の注意は厳守のこと）

なお、座席確保の関係上、講義の「申込」「受講料振込」期限は、共に「受講する講義科目実施日の1週間前まで」です。締め切りを過ぎた申込みは受け付けませんのでご注意ください。

また、入金がわかるように振込証明書（振込の事実がわかる書類等）を添付すること。

「申込」と「受講料振込」が確認次第補習所から連絡を行います。

連絡がつかない場合は受講できませんので、補習所からの着信があった場合必ず折り返し電話すること。補習所から連絡がない場合は、自身で補習所に確認の連絡を入れること。

※手続きを守らない場合は受講出来ないので、注意すること。

#### 2. 下位学年のeラーニングを視聴する（視聴した講義はその科目が対象の学年の単位になります）

下位学年のeラーニングを受講し、修了した下位学年での不足単位を充足することができます。

※ 2012 年期より、学年末の「eラーニング補講」は廃止されています。

#### ★注意事項（必ずお読みください）

(1) 下位の学年のeラーニング科目を視聴する際は、必ず事前に取得単位確認システムから自身の「取得単位の確認」画面で当該科目の単位を取得していないことを確認してから視聴してください。

(2) 過去に単位を取得している科目を再度視聴しても単位は付与されません。

#### 受講方法

- (1) eラーニング視聴画面にログインする。
- (2) 「eラーニング視聴画面」より、視聴を希望する科目を購入する。  
※事前に購入（ネット決済）してからでないとう視聴できない。

#### 申込方法

事前の申込は不要です。

※ただし、上記「注意事項」を必ず確認してください。

#### 受講料

1科目視聴につき、3,000円。

### 3. 下位学年のディスカッション及びゼミナールを受講する

(受講した講義はその科目が対象の学年の単位になります)

「ディスカッション及びゼミナール」については、補習会場での講義参加のみとなります。7ページの「ディスカッション等受講申込書」により事前申込をすることによりディスカッションまたは、ゼミナールを受講することができます。

なお、座席確保の関係上、ディスカッション等の「申込」「受講料振込」期限は、共に「受講するディスカッション等の1週間前まで」です。締め切りを過ぎた申込みは受け付けませんのでご注意ください。(申込書の赤字の注意は厳守のこと)

また、入金がわかるように振込証明書(振込の事実がわかる書類等)を添付すること。「申込」と「受講料振込」が確認次第補習所から連絡を行います。

連絡がつかない場合は受講できませんので、補習所からの着信があった場合必ず折り返し電話すること。補習所から連絡がない場合は、自身で補習所に確認の連絡を入れること。

※手続きを守らない場合は受講出来ないの、注意すること。

### 4. 必修科目について

実務補習を修了するために必ず受講しなくてはならない科目です。すべて履修すること。

実施学年	分類	科目名
第1学年 (J1)	監査	監査制度総論
	会計	決算実務と開示【その1】 (旧 金融商品取引法に基づく開示と実務)
	会計	IFRS概念フレームワークに基づく会計処理の基礎(非金融資産)
	税務	税法総論
	税務	租税制度総論
	経営	経営管理総論
	経営	経営分析総論
	経営	ITのリスク評価の概論
	法規・職業倫理	公認会計士法
	法規・職業倫理	職業倫理
	法規・職業倫理	職業倫理(精神的独立性)※
	特別講義	協会動向・常務理事講話※

※通常講義(ライブ講義)

## 【**考查単位の充足方法について**】

(修了要件)

全10回の考查をすべて受験し、合計60単位以上取得すること。 各回の考查につき4単位以上取得すること。
--

考查単位における修了要件を充足するためには、下記の方法があります。

### 1. **下位学年の各考查を受験する**

本年実施される各考查を受験して、不足する単位を充足することが可能です。

再受験希望者は、8ページの「監査総合グループ考查受験申込書」にて必ず申し込みをすること。(申込書の赤字の注意は厳守のこと)

なお、「申込」「受験料振込」期限は、座席確保の関係上共に「考查実施日の1週間前まで」です。締め切りを過ぎた申込みは受け付けませんのでご注意ください。

また、入金がわかるように振込証明書(振込の事実がわかる書類等)を添付すること。「申込」と「受験料振込」が確認次第補習所から連絡を行います。

連絡がつかない場合は受験できませんので、補習所からの着信があった場合必ず折り返し電話すること。補習所から連絡がない場合は、自身で補習所に確認の連絡を入れること。

※手続きを守らない場合は受験出来ないので、注意すること。

### 2. **本年実施される追考查を受験する**

本年実施される追考查を受験して、不足する単位を充足することが可能です。

追考查の実施時期等については、実施要領が決定次第ウェブサイトに掲示します。単位の不足している考查回を再受験して単位を充足するようにしてください。

## 【**課題研究単位の充足方法について**】

(修了要件)

全6回の課題研究において研究報告書をすべて提出し、合計36単位以上取得すること。 各回の課題研究につき4単位以上取得すること。
--

課題研究単位における修了要件を充足するためには、下記の方法があります。

### 1. **下位学年の課題研究の再提出する**

本年実施される各課題研究にて再提出を行って単位を充足することが可能です。

再提出希望者は、9ページの「課題研究再提出申込書」にて課題提出前に必ず申し込みをすること。(申込書の赤字の注意は厳守のこと)

「申込」「再提出料振込」期限は、共に「課題研究提出締切日の1週間前まで」です。締め切りを過ぎた申込みは受け付けませんのでご注意ください。

また、入金がわかるように振込証明書(振込の事実がわかる書類等)を添付すること。

※手続きを守らない場合は提出を認めないので、注意すること。

なお、54期生以前の補習生については、課題研究の運用が変更になっているため、課題

研究の再提出の際は5ページの課題研究対応表を参照のうえ、対象となる課題研究を再提出してください。

## 2. 最終単位不足者に対する追課題研究を再提出する

継続生およびJ3、修業年限短縮申請者は、年度末に実施される最終単位不足者に対する追課題研究（課題研究の再提出）にて再提出を行うことで単位を充足することも可能です。

最終単位不足者に対する追課題研究（課題研究の再提出）は学年末に実施されます。実施要領が決定次第、ウェブサイトに掲示します。

※追課題研究の提出の対象者は、継続生及びJ3、修業年限短縮申請者のみとなります。

※追課題研究提出はあくまでも、最終的な充足手段ですので、追課題研究に頼らず課題研究の再提出で単位を充足するよう心がけてください。

### 【講義・ディスカッション等受講料・考査再受験料・課題再提出料の支払いについて】

#### ・金額

「講義受講・ディスカッション等受講」

講義・ディスカッション等受講1コマにつき      **3,000円**

「考査再受験（再考査・追考査の受験）・追課題研究（課題研究の再提出）」

考査再受験1回につき      **15,000円**

課題再提出1回につき      **15,000円**

#### ・振込先口座

- ・ 金融機関：三菱東京UFJ銀行 市ヶ谷支店
- ・ 預金種別：普通預金
- ・ 口座番号：0149117
- ・ 口座名義：一般財団法人会計教育研修機構 近畿実務補習所  
代表理事 関根 愛子（セキネ アイコ）

※ 振込欄には、「**補習生カード番号**」と「**氏名**」を入力すること。

※新生銀行のインターネットバンキングを利用の方は、振込エラーが多発しますので、ATMにより振込願います。

## 【注意】

### 受講について

- ・平成 22 年度（平成 22 年 11 月～）から重複受講の禁止が適用され、一度受講した科目を再度受講した場合は単位に反映されません。
- ・ライブ講義、考査受験は、在籍の期と同じクラスの会場になります。なお、所属のクラスが「C」「D」の場合は現在の「A」クラスで受講・受験して下さい。
- ・ディスカッション・ゼミナールの受講は、在籍していた期と同じ班に限定します。班が解らない場合には、事務局へ確認の連絡をすること。
- ・期日までの事前申込及び振込みがない場合、受験・受講・提出は一切認めません。
- ・学年間での単位の振替はできません。（例：J1 科目→J2 単位など）
- ・J3（2015 年期生）の単位不足の場合、当年度には充足する方法はありませんので、継続生となり、次年度に不足単位を充足する事になります。

### 課題研究対応表

旧論文（54期生以前）	再提出課題研究
冬期論文	第1回（J1）
春期論文 1つ目のテーマ	第2回（J1）
春期論文 2つ目のテーマ	第3回（J1）
夏期論文 1つ目のテーマ	第4回（J2）
夏期論文 2つ目のテーマ	第5回（J2）
夏期論文 3つ目のテーマ	第6回（J3）

※（ ）内は対象学年

※再提出課題については、テーマの発表時期・提出締切日が異なるので、実務補習所ウェブサイトをチェックして、期日までに提出すること。

以 上

# 講義受講申込書

( F A X 0 6 - 6 2 7 1 - 0 4 1 5 )

申込、受講料振込期限は、受講する科目実施日の1週間前まで

平成 年 月 日

第 期 クラス

補習生カード番号 氏名

連絡先電話（携帯）番号

※連絡先番号は、日中必ず連絡の取れる番号を記載すること。

## 【ライブ講義受講を希望する場合】

日 程	期	クラス	講義科目 ※
平成 年 月 日 ( )			
平成 年 月 日 ( )			
平成 年 月 日 ( )			
平成 年 月 日 ( )			
平成 年 月 日 ( )			

振込証明書添付欄

### ■注意事項

※ 講義科目は日程表に記載の教科 No. と科目名を記載すること。

記載例) 監査 202 財務諸表監査における不正、ディスカッションⅢ

※クラス・班はやむを得ない理由を除き、原則、在籍の期と同じクラス・班とする（要相談）

※ 期は、出席しようとする学年（〇〇〇〇年期）を記載すること。

※ 申込、受講料振込は共に受講科目実施日の1週間前（土日祝祭除く）までに振込む。また、振込証明書（振込の事実がわかる書類等）を添付すること。

※ 受講可否について事務局から連絡しますので、06-6271-0401からの着信があった場合、折り返し電話すること。事務局から連絡がない場合は必ず確認の連絡を入れること。連絡がつかない場合は受験出来ません。

# ディスカッション等受講申込書

(FAX 06-6271-0415)

申込、受講料振込期限は、受講する科目実施日の1週間前まで

平成 年 月 日

第 期 クラス

補習生カード番号 氏名

連絡先電話（携帯）番号

※連絡先番号は、日中必ず連絡の取れる番号を記載すること。

## 【ディスカッション・ゼミナール等受講を希望する場合】

日程	期	班	講義科目 ※
平成 年 月 日 ( )			
平成 年 月 日 ( )			
平成 年 月 日 ( )			

振込証明書添付欄

### ■注意事項

※ 講義科目は日程表に記載の教科 No. と科目名を記載すること。

記載例) 監査 202 財務諸表監査における不正、ディスカッションⅢ

※ クラス・班はやむを得ない理由を除き、原則、在籍の期と同じクラス・班とする（要相談）

※ 期は、出席しようとする学年（〇〇〇〇年期）を記載すること。

※ 申込、受講料振込は共に受講科目実施日の1週間前（土日祝祭除く）までに振込む。また、振込証明書（振込の事実がわかる書類等）を添付すること。

※ 受講可否について事務局から連絡しますので、06-6271-0401 からの着信があった場合、折り返し電話すること。事務局から連絡がない場合は必ず確認の連絡を入れること。連絡がつかない場合は受験出来ません。

## 監査総合グループ考査受験申込書

(FAX 06-6271-0415)

申込、受験料振込期限は、受験する科目実施日の1週間前まで

平成 年 月 日

第 期 クラス

補習生カード番号 氏名

連絡先電話（携帯）番号

※連絡先番号は、日中必ず連絡の取れる番号を記載すること。

### 【考査再受験の場合】

**注意！** 税務グループ考査は、会計教育研修機構のウェブサイトにて実施要領を確認して下さい。

日程	期	クラス	考査実施回・科目 ※
平成 年 月 日 ( )			
平成 年 月 日 ( )			
平成 年 月 日 ( )			

振込証明書添付欄

### ■注意事項

※ 考査実施回・科目は「第〇回考査×××（考査科目名）」と記入すること。

※ 申込、受験料振込は共に受験科目実施日の1週間前（土日祝祭除く）までに振込む。また、振込証明書（振込の事実がわかる書類等）を添付すること。

※ 受験可否について事務局から連絡しますので、06-6271-0401からの着信があった場合、折り返し電話すること。事務局から連絡がない場合は必ず確認の連絡を入れること。連絡がつかない場合は受験出来ません。



# 課題研究再提出申込書

(FAX 06-6271-0415)

申込、再提出料振込期限は、希望する課題研究提出日の1週間前まで

平成 年 月 日

第 期 クラス

補習生カード番号 氏名

連絡先電話（携帯）番号

※連絡先番号は、日中必ず連絡の取れる番号を記載すること。

## 【再提出する課題研究】

期	課題研究名称
	第 回 課題研究
	第 回 課題研究
	第 回 課題研究
	第 回 課題研究

振込証明書添付欄

## ■注意事項

※ 期は何期（例：2015 年期(J3)）を対象とする課題研究かを記載すること。

※ 54 期生までの継続生は、提出する課題研究名称を 5 ページの課題研究対応表を参照して記載すること。

※ 申込、再提出料振込は、受講科目実施日の 1 週間前（土日祝祭除く）までに振込む。また、振込証明書（振込の事実がわかる書類等）を添付すること。